

愛知県地方計画・政策指針の策定の経緯と概要

計画の名称	愛知県地方計画 (第1次)	愛知県地方計画 (第2次)	第3次愛知県 地方計画	愛知県地方計画 1976～1985 (第4次)	第5次愛知県 地方計画	愛知県21世紀計画 (第6次愛知県地方計画)	新世紀へ飛躍～愛知2010 計画 (第7次)	新しい政策の指針	政策指針2010-2015
作成時期	昭和33年12月15日	昭和37年8月17日	昭和45年1月26日	昭和51年3月24日	昭和57年3月29日	平成元年3月27日	平成10年3月27日	平成18年3月31日	平成22年3月29日
計画期間 (計画年数)	昭和33年度～40年度 (8か年)	昭和36年度～45年度 (10か年)	昭和45年度～60年度 (16か年)	昭和51年度～60年度 (10か年)	昭和57年度～65年度 (9か年)	平成元年度～21世紀初頭 (おおむね15か年程度)	平成10年度～平成22年度 (13か年)	平成37年頃までの長期を展 望し、27年まで (10年程度)	平成22年～27年 (6か年)
計画の特色	○中部経済圏 ○県土利用と都市・ 農村の適正配置	○中京広域都市圏構想 ○三内陸・三臨海の工 業拠点開発	○中京広域都市圏と 伊勢湾の将来 ○都市圏整備	○資源・環境制約型の 計画 ○流域を中心とする 地域づくり (流域圏づくり)	○課題設定型の計画 ○定住生活圏整備	○ビジョン型で重点性を もった計画 ○日本・世界を視野に収め た地域づくり (国土中枢 軸/産業技術首都/新伊 勢湾都市圏/国際博覧 会)	○策定・推進の段階での横 断性・総合性を重視 ○地域づくりの担い手や行 政区域の枠を越えた連 携・協力を重視 ○ビジョン型計画の柱と して中部国際空港・国際 博覧会を様々な分野や 各地域で生かす方向の 提案を重視	○総合的・体系的な地方計画に 代わり、これからの愛知の方 向性を明らかにする戦略 的・重点的な地域づくりの羅 針盤として策定 (個別計画等を策定している 分野については、原則とし て、その施策・事業等の推進 はこれに委ねる)	○時代環境に合わせて柔軟な 見直しを行うとする政策指 針の趣旨を踏まえた改定 ○社会経済の構造変化を踏ま え、地域づくりの3つの視点 を提示 (「つながり・絆」, 「持 続可能性」, 「風格」)
計画の目標 (理念) と 計画作成の 背景	○総合性と計画性を 求めて ●特定地域の開発 から県域の総合開 発へ ●行政の計画性を 求めて ○大都市名古屋との 関連の問題 (市町村合併等)	○国民経済の発展と 地域住民の福祉向 上 ○府県合併論の台頭 <改定要因> ●伊勢湾台風の被災 ●国民所得倍増計 画への対応 ●短期計画を上回る県 経済の拡大	○新しい地域社会 の建設 <改定要因> ●新地方計画の延長 ・増補 ●新しい諸課題への対応 ●新全総計画への対応 ●中部圏基本開発整備 計画への対応	○住みよい愛知県づ くり <改定要因> ●3次計画中間年度の 見直し ●オイルショック後 の新展開への対応	○人間性と活力にあふ れた愛知県づくり <改定要因> ●4次計画中間年度の 見直し ●21世紀へ向けての長期 課題への対応 ●国の各種計画改定への 対応	○世界に開かれた魅力あ る愛知 <改定要因> ●5次計画の目標年度の到来 ●21世紀初頭へかけての社 会経済変化への対応 (国土づくりの枠組みの変 化、世界経済化の進展等) ●国の各種計画改定 (四全総、経済運営5カ 年計画等) への対応	○人と地域の個性が輝き、 交流・創造の拠点となる 愛知 <改定要因> ●従来の予想を超える社会経 済情勢変化への対応 ●中部国際空港、国際博覧会 など21世紀への飛躍の基 盤となるプロジェクトを 活用した地域づくりへの 対応 ●新しい全国総合開発計 画の策定等への対応	○今を越え、さらに世界で輝 く愛知県づくり <改定要因> ●愛知万博の開催と中部国 際空港の開港という二大 事業を実現した後の新た な地域づくりへの対応	○安心、希望、そして風格あ る愛知へ <改定要因> ●世界同時不況による経済 環境の悪化など社会経済 情勢の大きな変化 ●2010年を目標としたマイ ルストーン事業の進捗
計画の構成	総合振興計画 総合部門 水政部門 交通部門 農林水産業部門 商工業部門 文化厚生部門 地方行政合理化計画	総説 計画の背景 県総合計画 ●総合基本計画 ●産業の振興 ●人的能力の向上及び 生活環境の整備 ●産業及び生活基盤の 整備 地域開発計画 行政合理化計画	総説 計画の背景 総合計画 ●県勢の見直し ●土地利用 ●県民生活の充実 ●社会保障・社会 福祉の充実 ●教育と文化の振興 ●産業の振興 ●労働力の活用と労働 福祉基盤の整備 地域計画	序説 21世紀への展望 総合計画 ●あいち1985年 ●健康で安心して 暮らせる地域づくり ●心の豊かさをは ぐくむ地域づくり ●快適な住まいと 生活環境のため の地域づくり ●暮らしの豊かさを 支える地域づくり 地域計画 計画実現への課題	総説 愛知の将来—計画のフ レーム 県土の基本構想—環伊 勢湾都市圏構想 21世紀へ向けての5つ の重点課題 ●生きがいと文化を育て る参加型社会の形成 ●高齢化社会への対応 ●顕微鏡産業エリアの形成 ●危機に強い地域づくり ●国際的きずなと広域連帯 部門別計画 地域別計画 計画達成のために	総説 ●21世紀をめざして—計画の枠組み ●日本、世界のなかの愛知 —その役割と位置づけ— 21世紀の愛知 ●生活のビジョン ●産業経済のビジョン ●県土のビジョン ●主要プロジェクトの展開 (安心あいち地域福祉シ ステムなど10プロジェ クト) 部門計画 地域計画 計画達成のために	計画策定の趣旨 新しい愛知づくりの基本 目標 ●これからの時代認識 ●地域づくりの基本とす る視点 ●計画の基本目標 2010年の愛知 ●生活のビジョン ●産業経済のビジョン ●県土のビジョン ●世界的な交流・創造拠点と しての愛知の発展 分野別計画 地域別計画 計画推進の基本姿勢	新しい政策の指針とは 愛知の将来展望 ●長期的な視点 ●広域的な視点 愛知の地域づくりの基本目標 基本課題及び柱となる政策 の方向 (「産業や文化を世界に発信 する国際交流大都市圏づ くり」をはじめ8つの基本 課題を設定) 新しい政策の指針の推進につ いて	「政策指針2010-2015」につ いて 社会経済情勢の変化と2015年 に向けた地域づくりの視点 ●大転換期の社会経済 ●2015年に向けた地域づく りの視点 ●行財政改革の取組と一体 となった政策指針の推進 2015年に向けた地域づくりの 基本方針 基本課題と主要政策 (「いのちを守る「安心・安全」 の社会をつくる」をはじめ6 つの基本課題を設定